

第十七期登山学校

第一回講座

「計画から下山まで」を終えて

一七期受講生 尾林雅男記

五月の開校式・ガイダンスを終え埼玉県勤労者山岳連盟の第十七期登山学校が始まりました。第一回目の講座は、「計画から下山まで」の講座を六月九日机上講義、十日実技で行われしました。講義内容は、小松講師による山登りをするための計画から準備、山の選定等をはじめ計画書の作成方法、コンパスの使い方についての講義でした。明日の実技の為に四班に分かれ計画書作成やコンパスの使い方を習得しました。

翌日の実技は、JR宇都宮線小山経由と東武日光線栃木経由に分かれJR両毛線に乗って集合場所の富田駅に九〇三到着。当日は、駅からハイキングのイベントがあり小さな富田駅にたくさん乗降客が下りました。我々総勢二五名は昨日決めた四班に分かれ一路三柱神社へ向けて出発しました。三柱神社で各自作成した登山計画書を班ごとに集め提出しその後ストレッチ体操を行い出発、阿夫利

神社に到着後登山開始、女坂分岐を経由して、展望スポット。

大小山からは広大な関東平野の先に東は筑波山、南には東京スカイツリーや新宿の高層ビル群を見ることができました。その後、大小山、妙義山のピークを踏んで楽しい昼食、昼食後再出発をするものの後続が・・・

やまゆり学園へ向かい山を降り再び登りかえすというハードな行程であった。登山の途中何度もコンパスを振る場面を作って頂き全員理解できるようにしたのではないだろうか。

天気予報では雨が心配でしたが登山学校の生徒及び講師の日ごろの行いが幸いし、何とかもってくれました。登山学校の初めての登山で班内ではありますが仲間の名前と顔が一致することができました。

阿夫利神社で整理体操のストレッチを行い集合写真も撮り終えて無事解散致しました。

十五・四二の電車に乗って無事帰宅。メタボの私は万歩計をつけての登山でした。

我が家について歩数を確認二七、七二八歩。楽しい一日を過ごさせていただきました登山学校の仲間と講師に感謝いたします。

一七期受講生 岩下 愛記

六月九日(土)机上講座
講師 小松勝浩氏

いよいよ初回の講座、楽しみに会場へ向かいました。まずは遭難に関するスライドを見ながら登山計画書の必要性を説明していただきました。私は、これまで個人や友人との山行で登山計画書を作成したことがなく、予定の行程をメモしておくだけだったので、今回の「登山計画書が書けるようになる」という目標を實踐できるように心がけたいと思います。分かり易いテキストを用意していただき、山の選び方から装備、プランの立て方、パーティの役割、登山中の歩き方やマナーについて、断片的に知っている事柄を確認したり、不足していた知識を整理することができました。

小松講師の実際の登山を例としたプランの立て方は、実践的で参考になりました。また、初めてコンパスを使ってみました。地形図の見方を知らなかったのですが、コンパスを振ってみると自分の向かう方向を示すことができるなんて「なんて賢い道具なんだ」と感心しました。しっかりと使えるようになりたいです。最後に、翌日の実技の学習山行の計画書を各

自分で書いてみました。

安全に登山をする上で、出発前の準備がいかに大切かを教えていただきました。必要十分な装備、山や天気の情報収集等、事前に様々な想定と計画をしておくことで、心身に余裕が持てるのだと思います。

六月十日(日)実技講座
栃木県 大小山
講師 伊藤正勝氏

心配していた天気もまずまず、暑いぐらいの陽気で登山計画書の行動予定にそって各地から富田駅に集合しました。早速コンパスを振ってから、グループごとに出発し、途中の神社で準備体操を行います。登りと下りの歩き方を確認し、田舎道から登山口へ向かいました。里に近い低山ということもあってか、地図にない登山道もあり現在地の確認とコンパスを度々振って目標の位置を確かめるようにしていました。徐々に傾斜もきつくなってきましたが、比較的ゆっくりペースだつたため、気持ちよく歩くことができました。途中の見晴台から眼下に田園風景を見渡せ、遠くにスカイツリーも発見しました。

大小山、妙義山のささやかな山頂を踏み、登山道の分岐付近で昼食をとりました。食事後、私たちのグ

ループは一番最初に歩き始め、ワンちゃん連れの登山者とすれ違ったり元気に足を進めていました。しかし途中で踏み跡が不明瞭になり、後続が来ていないことに気付き、どうやら道迷いをしてしまったようです。昨日の講義のとおり、来た道を登り返し、正規のルートに戻る事ができました。学んだことがしっかりと役に立ったのでした。

いったん集落へ下つた後、再び登り返します。標高に関わらず、このアツプダウンは足にきます。南側の尾根道を気持ちよく歩くと、本日一番の眺めジャンクションピークに到達しました。三百六十度の展望で爽やかな風が心地よかったです。登山口まで降りた頃、小雨がパラパラ。全員が無事に下山し、整理体操や山行のまとめを行って解散となりました。大小山は、思っていたよりも歩き甲斐のある山でした。グループの皆で声を掛け合いながら歩き、楽しい山行になりました。電車での移動中も、山の情報交換や装備の工夫などの話であつという間に時間が過ぎていきました。講師の皆さまにはお世話になりました。ありがとうございました。